

アセビの育て方

育てやすさ：★★☆☆☆ そだてやすい

日当たり：半日陰～日向

花が咲くまでの年数：1～2年

### 株を健全に育てるには

乾燥しすぎず水はけがよい土を好む

鉢植えは、春～秋はじゅうぶん水やりをする

植え替えの適期 3～4月、10～11月

用土 赤玉土（細粒）：鹿沼土（細粒）：腐葉土＝1：1：1

### 庭植えの場合

①幅・深さとも根鉢の2倍ほどの大きさの穴を掘ります。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を1/3ほどくずします。

③木の根元が地表より10cm高くなるように穴の底に用土を入れ、穴に水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。水を与えると株が沈むので、最初は高めに植えます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

※水はけが悪い場所では植穴の底に5cmほど砂利を敷いてから植えます。

### 鉢植えの場合

2年に1回くらいのペースで、一回り大きな鉢に植え替えます。

①根鉢より1回り大きい鉢を用意します。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③鉢に用土を入れ、株を据えたら、水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

**水やり** 庭植えの場合は土がひどく乾かないかぎり必要ありません。鉢植えは夏は朝と夕方、春と秋は1～2日に1回程度、冬は土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。

**肥料** 春に緩効性化成肥料（N・P・K＝8-8-8 など）を株のまわりに施します。追肥は秋に緩効性化成肥料（N・P・K＝8-8-8 など）を施します。

**剪定** ほとんど必要ありませんが、枝が茂りすぎた時は、枝分かれしている付け根で切ります。開花後、なるべく早い時期の5月までに剪定します。夏以降に剪定すると、せっかくできた花芽を切ることになるので、翌年花が咲かない原因となります。

## 病害虫

### グンバイムシ

症状：葉の汁を吸うため、美観を損ねたり生育が悪くなったりします。

対処：スミチオン乳剤などを散布します。

### ハマキムシ

症状：幼虫が葉を食べるため、美観を損ねたり生育が悪くなったりします。

対処：葉を巻いたり、つづり合わせた中に幼虫がいるので、見つけたら補殺します。オルトラン液剤などを散布します。

※薬剤散布に際しては必ず商品の説明をよく読み、記載内容に従って正しく安全に使用してください。